





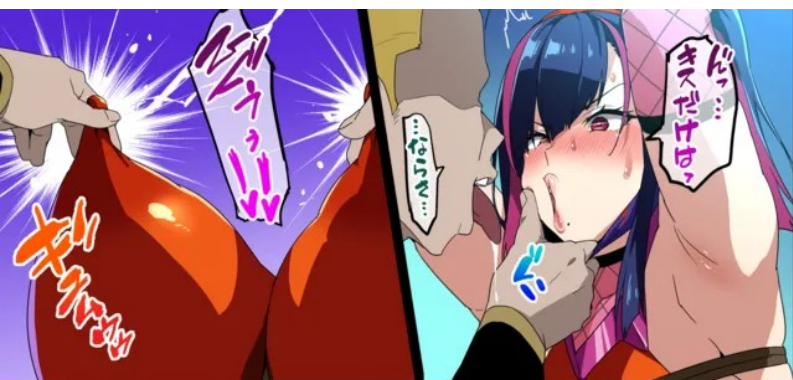
潜入任務3ヶ月と1日目

ギシッ……

「くっ……何のつもりですか？
指導を受けるとは言いましたが、この緊縛は…」
「何って指導ってんだろ？ドスケベ指導な♥」
「……確かに房中術は不得手でしたけど……
里の命とは言え……なぜ私が校長を誘惑など……」
「あの校長は、あんな見た目で女に困ってない上に
好みがるさくてな…他のくのいちじゃ籠絡
できなかったんだよ」
「…だからっ…他のシノビで駄目だからと言って
何故、私が…私には愛する夫もいるのに…」
「おいおい、本気で言ってるのか？
くれは先輩……」

「こんなバカでかい乳、ぶらさげてよっ!!!」
「ばちまんっ!!!」
「ひうっ!?♡♡♡」

「しかも感じると陥没乳首からデカ乳首が
飛び出てくるドスケベ乳だからなっ♥」
「パチンっ!パチンっ!パチンッ!」
「ひうっ!♡ひうっ!♡ひくっ!!!♡」
「(なんでっ?…こんな屈辱的な仕打ちを受けているのに…
おっぱいが…気持ちよくなってるんですが!♡♡)」
「くっ、乳だけじゃなく…尻に腹にも肉が
詰まってるからな、あの校長が好むエロボディってわけだ
……しかも……」



「人妻なら尚更だ…さあ舌出しな…♥」
 「んう……き、キスだけは……やめ……て…」
 「ああん？ダンナに気を使ってるか？……まあ、いいか…
 まずは、このマジでエグい乳から仕上げるからなっ！」
 「ひぐうう！！♥♥♥」
 「ほらほら…どうよ？そのうち乳だけじゃなく体中どこでも
 マンコの数倍、感じるようにしてやるからな」
 「ひう♥あう！♥ひぐっ♥ひううん♥」



「ふう♥…ふう♥…なんで……こんなに…」
 「ああ…オレは戦闘はからっきしなんだけどよ…
 指とかチャクラ通して揉み込むとな
 すごい感度あがんのよ…しかも
 チャクラを依頼人に合わせれば……」
 「ふうふう♥…依頼人？…里のこと？」
 「そうそう…まあ、そんなことより…」



べろべろお！
 「あひんっ！♥……くう、ちょっとソコは……」
 「クリも乳首みたいにデカく…マンコもスケベに…
 マン肉ぽってりのスケベ体型にしろってのが
 クライア……校長の好みだからなあ」
 「そ…そんな体になったら炎斗さんに何て
 説明すれば…ひうんっ！♥」
 「本当のこと言やいいんだよ、ごまかさず……
 普段はキリッとした国語教師してるけど
 裏ではスケベな体ぶらさげて淫語大好きな
 人妻教師になって校長誘惑します、ってな♥」
 「ふ…ふざけないで…んうう！♥」



ぶるんっ！

「ついでにデカチンも大好きにしてやるよ
俺のチンポは形も大きさも自在でな」

「なっ！？」

(なんて大きさ……こんなの…夫の何倍も……
こんなの痛いだけ…まともに入るわけな…)

べしっ！べしっ！

「あぶっ♡へぶっ！♡」

「心配すんなって、俺のチンポいれられた女は
あとで必ず連絡とばしてくるんだよ…個人的にな」

「そ……そんなわけ…ひうんっ♡ああん♡」

(うう♡この匂い……頭がおかしくなる…

ち…チンポのニオイでアソコが……おかしな声まで
出てしまうわっ♡)

「ひおおんっ！♡♡」

ずぼっ！すぼっ！じゅぼっ！

「お…っ♡おお♡んお！♡おつきすぎ…お…お♡」

(おかしいわっ！こんなデカチンポ……ふつうなら
痛いはずなのにいい♡)

「言った通りっしょ？病みつきになっちゃうって！ふんっ！」

「～～ううっ♡…こ…こんにゃのお…ふくっ！♡」

「へえ～…頑張るね……それなら…」

ぐりぐりぐりぐりっ！

「おほおおお！♡んほっ！!?にゃにっコレえ！?♡

おおお♡おくうう！赤ちゃん部屋のところにいい♡」

「龟头振動回転させて子宮アクメさせちゃうってわけ」

「ひおお！♡炎斗さんの…おほっ赤ちゃん部屋あ♡

ぐちゃぐちゃにしないでええ！♡」



「そりゃ無理な話だわ、この『訓練』が終わったら
頭の中はチンポの事ばかりのピンク色に
染まっちゃうんだからな♪」

「そ…そこまで…ひぐっ！♡うぐう！♡」
(ダメえっ♡…子宮だけでなく本当に頭の中まで
おがしくされるうう♡♡)

「しかも…校長のチンポサイズにしてる上に……気や
フェロモンまで同じにしてるからな…ふっ！ふっ！♡
これでダンナの粗チンじゃ一生感じれない体になるわけ♪
「ぶぐううん！そんなに…こと…イぐっ！♡」
(ああ♡イキっぱなしにされてるうう♡
いやっ、いやよっ！エントさんのチンポ忘れちゃダメっ♡)
「わすれちゃ…いぐっ！♡…おっ！♡♡」

「すぐ忘れられるって！ホラ！」

「ばちんっ！ばちんっ！」

「ぶぎいいいん！♡お尻い！…いぐっ！♡

「ただかなひで…いんぐう！♡♡」

「くっ！思ったよりも全然具合がいいな……

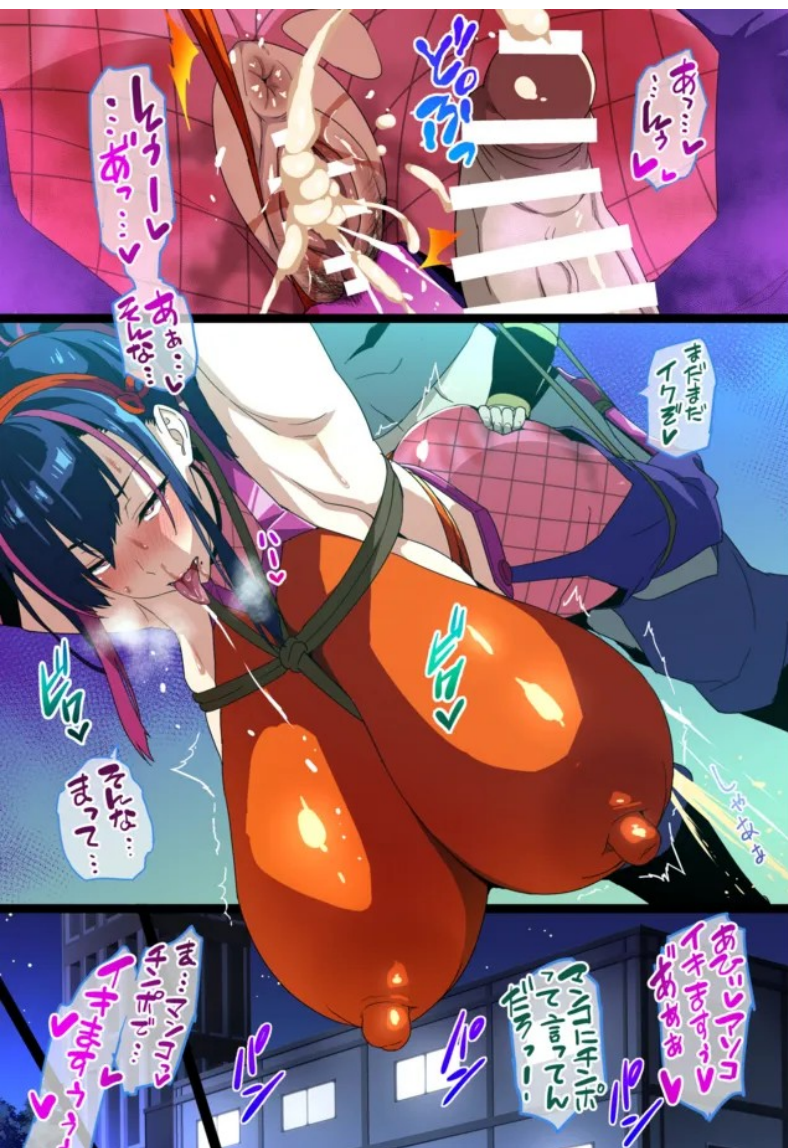
校長がこだわるのもわかるな…へへっ

こんなスケベ女じゃ、さすがに、もう出るわっ…ぐっ！♡」

「ま…まっへ……中は…中はだけは
エントさんにっ……ひぐっ！！♡」

「孕ませるのも自由にできるのが調教師だからな…
心配すんなって…中出しザーメンすぐに好きに
してやるからさ…くれはセンパイっ♡」

「だ……めっ♡……おっ♡……
いぐううううう！！♡♡」



……ぶりゆっ

「ふうう……こんなに出したの久しぶりだよ
くっく！エロババアのくぜに、しっこく吸い付くるマンコだな」
「あ……ああ♡…だ…めっ♡……ぜったひ…
エントさんの……チンポではらむ…
……ひくっ♡」

「くっく！妄想でイッてるな……
だが今日で、その妄想もできなくなるぜ……
妄想する度、俺のチンポと今日のセックスのことしか
思い出せないようになっちまうからな…」
「はあはあ♡…いや……そんなこと…
ない……ぜったひに…」

「くっく！イッてる イッてる……
明日は休日だろ？悪いが朝までツキ合うからな♡」
「う…そでしょ？……はあ…はあ……
お…男の人って一回で終わるはず…じゃ…んっ♡」
「粗チン野郎と一緒にすんなって…
くのいちのくぜに他の男とヤッてねえのか？センパイ
どうやら体力と忍術だけでのし上がったせいで
房中術はマジでヤッてなかったのかよ…」
「ううう……炎斗さんのこと…悪く…いわないで…」
「へべ…だが、その体力のおかげで俺の『調教』に
朝まで付き合えるわけだけど……
普通の女なら子宮の振動攻めで大概気絶してるからな♡」

すぶう！！
「ひっ！？ひぐううう！！♡♡」

その日…男子学生寮の端にある部屋からは女の嬌声が
ずっと鳴り響いていたという……



潜入任務3ヶ月と7日目

「……まったく、あのエロタヌキ…また違う女連れ込んでやがる…マジでスケベジジイだな」
「あれが売買されている学生の可能性があるんですね…んっ♡」

「そういうこと……ククク」
「んっ！ちょっと…コラっ！やめなさいっ……炎斗さんの聴覚だと……聞かれちゃうっ…んう♡」
「心配すんなって、ここら一帯じゃ、どのホテル…部屋でもやりまくってるカップルだらけ…聞こえねーって」
「そういう問題じゃ……それに、この格好なんですか？監視するのに……こんな格好……」

「そう言いつつ、しっかり着替えてくれるクレハ先輩マジかわいいッスね♡」

「うくっ……か、からがわないでっ……んっ♡」

(最近、毎晩シてるからって……なにを意識してるんですか！私は……)

「これは、いつもの訓練も兼ねてっから……」

さあ、カップル演技の続きっす♡

ペロペロお～♡

「ちょっ……キスはダメってえ……あんっ♡」

だ……だめえ……♡

(ダメ……変な声でてしまう…

昨日エッチの勢いでシたからって調子にのって…

…ああ、男くさいヨダレ撒き散らさないで……)

「うう♡……はあ、はあ……♡」

(私も私です…あれだけキスは拒否して守ってたのに……ああ♡すごい舌使い…)



くちや

(ああああ、シちゃった…またシちゃいました…)

「んべ♡んちゅ♡んちゅう♡んべえ♡」

(ああ…こんなエッチなキス……訓練とはいえ

…浮気に…浮気になってしまう……ああん♡

舌が絡み合って…溶けちゃいそう…♡)

「んちゅ♡あぶう♡んぶう♡……んちゅううー♡」

(もう…舌がどっちの舌かわからない……♡)

「んぶっ♥…いいぞお…ドスケベキスうまくなってきたな」

(んううう♡ドスケベなんてえ……そんなのダメえ！)

こんなドスケベキス…まるで恋人みたいにい♡)

「んぶっ♡ごほうびっ♪」

「んぱうんっ！♡キひゅされながら……んぱちゅ♡

手マン...すっごっ♡キスう♡んぶちゅううう♡

「キモひいい♡……んちゅうう♡」

(指っ♡Gスポットがりがりして……キモチいい♡)

ああ♡本当に頭おかしくなる♡

夫を裏切ってトスケベキスしてるのにっ♡)

「あぶ♡はぶう♡んぶううん」♡

「んぶっ 素直になったクレハ先輩えっろっ」

「んううう…言わなひでえ…んぶううう♡

んちゅ♡んぷちゅうん♡」



「あぶう♡んぶう♡んぢゅう♡」
(ああ♡頭の中も…オマンコの中もトロトロに
されてます……これじゃ、またされちゃう…
エッチしてくださいってハメ乞いする体にされちゃう♡)
「んぶう♡…これ以上は…だっ……めえ♡…あぶう♡」
「それじゃあマジイキさせてあげますよ♡ぶちゅう♡」

ぐちゅぐちゅぐちゅつ
「おっ♡んぽっ♡ひくっ…ひくう♡
ひくううう~~~~!!♡♡」
ぶじゃああああ!!……びくっ びくっ

「ひっ♡…おっ♡…おっ♡…んお♡」
(い…イガひゃれたあ♡……どしゅけベキスしながら
手マン……すっご♡こんなの…おがひくなるう♡)

「へへっ♡…できあがったな…今のクレハ先輩
マジドスケベでイイ感じのエロ顔になってますよ♡」
「あっ♡…んあ♡……ぶう♡……ぶう♡」
「それじゃあ、次イキますか……あのエロタヌキが好きな
ハメ乞い……前に教えたやつ、復習しましょうか♡」
「ああ…あれ……まだ……するの?……ぶう♡…ぶう♡」

「当然……優秀でスケベなクレハ先輩なら、もう覚えたっすよね…
……それじゃあ…そのベッドで……『やれ』よ?」
「うっ……」
(年下なのに…すごい圧……いつもなら睨み返してるけど……
今の頭がトロトロになった……
エッチになった私じゃ…さからえない…)
「わ…わがりました、ドウゴ『さん』♡」



「……ぴよ…ピョンピョン♡
よく来てくださいました～
ドスケベバニーのくればこと…
くーちゃんて～す♡」

(うう…いい歳して、こんなこと言われるなんて…
炎斗さんも聞いているかもしれないのに…でも…)
「お願いします♡あなたのデカニンジンここに……」

くばくば…ぴゅっ
(オマンコうずいちゃってます♡…ほしいのっ…ここにい♡)
「んうっ♡オマンコ忍術…び、ピラピラくばくばの術う～♡
この中にイれてほしい…びょんっ♡んう♡
アナタのを……くーちゃんのヨダレだらだら
ドスケベオマンコに……ちょうだ～い♡♡」
(ああ♡炎斗さん、ごめんなさいっ
私、この人のでかいチンポされるの望んじゃってます！♡)

「くっ♡…まあまあ…だな…
まだ少し、ぎこちねーけど……」
ずぼっ！

「おほおおお～～～♡♡！！」

「ご褒美あげますよ、くーちゃんっ♡」
「おっ♡おっ♡おっきいのがあ…はいつて…んおっ！♡
おっ♡おほお♡すごひいつ♡んおお！♡」
「『おっきいの』じゃなくて、デカチンだろ？」
俺が教えた下品淫語わすれたのか？現役国語教師！♡」
「おほおお！♡デカチンっ♡デカチンすっげっ！♡
おほ♡おっ♡ぎもちいひい…おほ！♡」



「うまいこと言えたねえ、ごほうび——んべえ♥」
(おお♡顔が近づいてくる…私より年下だけど
たくましいドウゴさんの顔が…♡)
「んぶう♡んぢゅう♡んぶううん♡」
(ああ♡吸っちゃう♡ドウゴさんのヨダレも舌もお♡
こんなの完全に浮気♡浮気ドスケベせつくすう♡)
「んぶっ…マジでメスブタの顔になってきたな…んぢゅ♥
一週間もっただけでも大したもんだけどな…んぢゅ♥」

「んぶうう…んぢゅうう~~ん♡」
(おっ♡おっ♡ダメエ……私が愛してるのは炎斗さん
…ダンナさん…なのに……こんなエロキスせつくすしてたら
体が…頭が誤認してしまいますう…♡)

「ひぐうう!!!!」
「今日の訓練もマジでイカせまくってやるからなっ
しかもカップルみたいにラブラブ種付けセックスでな! んぶっ♥」
「あひっ♡んぶうう!!!♡おお♡
ドウゴさんのデカチンすごひい!♡
くればのマンコお♡…んお! 完全に屈服してるうう!♡
おっ♡いつ…ぐ♡んおおっ!!♡」
どぶぶぶっ!
「ぐっ! 射精しても…お前がいくらイッても止めねえからな…
覚悟しろよっ! 今日で完全色ボケババアにしてやるからなっ!」
「んおお!♡いつくっ…♡んお…されちゃう♡
ドウゴさんのこと大好きな…デカチン大好きな
ドスケベババアにされちゃ……うおっ!♡いつく!♡」
どぶぶぶっ!
「おひいい!♡やっべっ!デカチンやべえっ♡
いぐのとまんなひ……あひっ♡あひひっ♡
たひゅけて…エントさ……おおおお!♡」

その後、1時間近くのノンストップの種付けラブラブ
セックスが続けられ……



「……ふう……どうだった？クレハ先輩っ♡」

俺の浮気ラブラブセックスは…
これがアンタをイカせ続けたデカチンですよ～♪」

「…ふう…ふう♡…んびちゅ♡…むぢゅううんっ♡」

「くっ…聞くまでもねえか……」

嬉しそうに鼻の下のばしながらキスしてきてよ…くっ♡」

むくむくっ

「あ～♡アンタのスケベ面のせいでまた勃起して
きちまったよ」

「へっ♡へっ♡へっ♡…<ださあい♡
デカチンっ♡でがちん～♡」

「ほら…舐めていいぞ…クレハ♡」

「はひっ♡べろべろお～ん♡あはっ♡…すごいつ♡」

さつき出したばかりなのに、もう、おつきくなる…んべえ♡」

「お前がスケベすぎるからだろ…マジで
いい感じのエロババアになってきてるぞ♡」

「んべえ♡んばあ♡ババアって言わないでえ…んべ♡」

「くっ…それより、すぐまた始めるぞ…そうだな
次は俺好みの下品な喋り方で……夫の粗チンパカに
しながら…浮気セックスな♪」

「んびちゅうう～ん♡…そんなあ…」

(ごめんなさい…炎斗さん……これは…
任務……訓練ですからあ…♡)

「仕方ないですねえ～♡訓練ですし…んびちゅう♡

これからトウゴさんとマジでエロエロな
浮気セックスしまくっちゃいまあ～す♡んちゅう♡」

ちゅっ♡ちゅっ♡ちゅっ♡

「くっ…こんなチンポキスで求愛されたら
答えるしかねーな…クレハ♡」



◆火野 くれは(28)◆

T167 B129(Qカップ) W69 H120

シノビの里に所属するクノイチ
戦闘能力が高く脂肪を贅力に変える忍術を
扱う家系、おかげで食いしん坊。
だが名家の産まれで育ちがよく
そのことをバレルこと嫌う。

幼馴染の炎斗と結ばれ、幸せな家庭を
築くはずだったが里の命で夫と教師として
とある学園の潜入任務に向かうことになる…

そこで彼女は校長などからセクハラを
受けるが厳しい態度で返し生徒達からも
人気を得る、国語教師でエロい男を嫌うが…

この潜入任務の際に一緒に行動することにな
ったドウゴによって彼女の運命は
そのスケベな体にあふさわしい道を
辿ることになる……



◆火野 炎斗(28)◆

くれはと同じシノビの里に所属する上忍
戦闘より諜報活動がメインだが優秀なシノビ

今回は新婚の妻と一緒に任務で
張り切っている……だが、そこに
仕掛けられた罠に気づいていない

粗チン。



◆ドウゴ(??)◆

シノビの里に所属する新人の下忍
房中術が得意でチンコがデカい
指先から神経にチャクラを通し性感のツボを
刺激したりチンコの形など自在に操る

本当は女性を売買してる犯罪組織の調教師
依頼主の思うような女に変えてしまえる
最低のシノビ

◆校長(52)◆

麗堂学園の校長、デカチンでスケベ、セクハラも行う最低校長だが
何故か問題にならず学園の校長で居続けている……その招待は
女性を売買する組織の長、学園の生徒から教師まで今まで何人もの女性が
その毒牙にかかっている